

Week of October 27, 2024 - The Spiritual Person　　Small Group Lesson 6

知り合う

学校で何かを「学んでいる」と感じられなかった（あるいは、それを学ぶ必要がないと思った）時のエピソードを短く共有してください。しかし、後になってそれが将来どれほど重要または有用であるかに気づいた経験があれば教えてください。どのようにしてそのことに気づきましたか？

聖句　第一 コリントの信徒への手紙 2:6-16（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

6 しかし、私たちは、成熟した人たちの間では、知恵を語ります。それはこの世の知恵ではなく、また、この世の無力な支配者たちの知恵でもありません。7 私たちが語るのは、隠された秘義としての神の知恵であって、神が私たちに栄光を与えるために、世界の始まる前から定めておられたものです。8 この世の支配者たちは誰一人、この知恵を悟りませんでした。もし悟っていたら、栄光の主を十字架につけはしなかったでしょう。9 こう書いてあるとおりです。「目が見もせず、耳が聞きもせず／人の心に思い浮かびもしなかったことを／神はご自分を愛する者たちに準備された。10 私たちには、神は霊を通してこのことを啓示してくださったのです。霊はあらゆることを、神の深みさえも究めるからです。11 人の内にある霊以外に、一体誰が人のことを知るでしょう。同じように、神の霊以外に神のことを知る者はいません。12 私たちは世の霊ではなく、神の霊を受けました。それで私たちは、神から恵みとして与えられたものを知るようになったのです。13 この賜物について語るにも、私たちは、人の知恵が教える言葉ではなく、霊が教える言葉を用います。つまり、霊によって霊のことを説明するのです。14
自然の人は神の霊に属する事柄を受け入れません。その人にとって、それは愚かなことであり、理解できないのです。霊に属する事柄は、霊によって初めて判断できるからです。15 霊の人は一切を判断しますが、その人自身は誰からも判断されたりしません。16「誰が主の思いを知り／主に助言するというのか。」しかし、私たちは、キリストの思いを抱いています。

文脈を簡単にまとめてください。

学び

今日の聖句の以下のフレーズについて、質問に答えてください。

1. この箇所でパウロが対比している「二つ」の種類の知恵とは何ですか？それぞれの特徴は何ですか？

2. パウロが言う「成熟した人の知恵」とはどのような知恵ですか？パウロが言う成熟とこの世が言う成熟とはどのように異なりますか？また、パウロが言う「秘儀」とは何ですか？

3. 聖霊はどのようにして私たちが神の知恵を理解するのを助けてくださいますか?

4. ノンクリスチャンには愚かに見えても、霊的な視点から見ると賢明であることの例にはどのようなものがありますか？

5. 「霊の人」であるとはどういうことでしょうか？（15節）私たちが霊的に成熟するためには、日々の生活において、どうすればよいでしょうか？

分かち合い

今週のメッセージにあるイラストレーションを共に考えてみましょう。

- 学校の例えは、成熟の段階や状態の対比をどのように描いていますか？

分かち合いましょう。

- 今週のメッセージで引用されたピリピ人への手紙3章13-15節を読み、神の知恵を理解し生活に適用するために、どのように聖霊にもっと頼ることができるかを話し合ってください。そうすることで、どのようにして、あなたの思いはより成熟し、あなたは霊の人(15-16節) となることができるでしょうか?

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。